

# 美川自然クラブ

H・17 8月号

「美川自然クラブ」は、美川町の清流・湧水のシンボルであるトミヨ（はりんこ）を保護し、美川町の身近な自然と手取川河口流域の生態系を守り、住み良く快適で明るい地域をつくるために行動することを目的とするボランティア団体です。

7月18日（月）祝（海の日）「カストムシをみつけよう」

がありました。

朝6時に県営手取公園左岸園地　野球場構内車場に集合ということで、虫かごや捕虫網を持った親子が次々集まりました。

予定では、河川敷の柳の木にどまっているカストムシをさがすことになっていましたが、数日前からの雨で河原がめかるんで足下が悪いので、これは中止となり自然クラブ会長の赤井さんの案内で「秘密の場所」まで車に乗って移動しました。

「秘密の場所」は、赤井さんが許可をもらった農業施設（椎茸の栽培場）でした。

赤井をどこで握ると、「ヤツ」やしたカストムシが現れ、子ども達の歓声があがりました。オスもメスもたくさんいました。どれも大きく手応えのあるカストムシです。ムカデやヤスデ、ゴミ虫などもでききました。

「カストムシ」とは、日本語で「カブトムシ」の意で、日本では「カブトムシ」の名前でよく知られています。カブトムシは、成虫の頭部が鎧兜（兜）の形をしていることからこの名前が付いたといわれています。カブトムシは、成虫の頭部が鎧兜（兜）の形をしていることからこの名前が付いたといわれています。

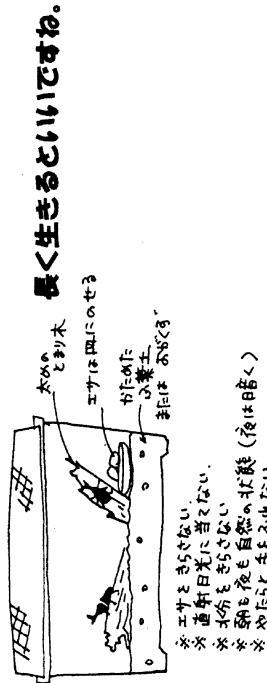
そのあと赤井さんから「カストムシについて」お話を聞いて、少し勉強しました。

「今日見つけたカストムシは、羽化したばかりなので羽根がまだ柔らかく、あまり触らないように気を付けること。（一週間ほどで固くなるそうです。）

オスとメスと一緒に觸うて交尾をし、オスは早く死んでしまうそうです。でも、メスは卵を産むかもしれません。

・羽根が傷つかないように、解説ケースにおかげずや盛土を入れてあげるといいそうです。

・網は市販のカストムシ用セリーやもいいですが、バナナが好物ということがあります。（残した網はすぐ捨てないとコバエがたかるそうです。）



8月21日（日）手取川親子ふれあい自然観察会があります。

たくさんの参加を待っています。

<http://www2.nsknet.or.jp/~fujii/mnc/top.htm>

